



平成 20 年 2 月 19 日

各 位

会 社 名： 株式会社レグス
代 表 者 名： 代表取締役社長 内川 淳一郎
(J A S D A Q ・ コード番号 4286)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名： 執行役員マネジメント部長 堀 康夫
電 話： 03-3408-3090

特別損失の発生及び平成 19 年 12 月期通期（連結・単体）業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 12 月期決算において下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 19 年 8 月 21 日付当社「平成 19 年 12 月期中間決算短信」及び平成 19 年 10 月 30 日付当社「平成 19 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況」にて発表いたしました業績予想について下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

投資有価証券の評価損

当社保有の投資有価証券について株式マーケットの市況悪化により、期末における時価が取得原価に比べ 50%以上下落いたしましたので、減損処理をおこない、投資有価証券評価損として 30,946 千円特別損失を計上いたします。

2. 平成 19 年 12 月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期（平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	8,542	575	577	215
今回修正 (B)	7,771	551	548	192
増減額 (B-A)	△771	△24	△29	△23
増減率 (%)	△9.0	△4.2	△5.0	△10.7

(2) 修正理由

当連結会計年度においては、子会社を中心とするマーケティングサービス事業においては、当初の予想売上高を下回ったものの、ほぼ予定通りの粗利益を確保いたしました。しかし、親会社である当

社の戦略クライアントである飲料クライアント向けにおいて、当初の見込み案件を失注したこと等により、当初の予想に対し売上高が下回り、営業利益及び経常利益についても若干予想を下回る見込みであります。

また、当期純利益については、上記の要因に加え、特別損失の発生及びその内容に記載のとおり、特別損失を計上したことにより、当初の予想を下回る見込みであります。

(3) ご参考：前期の実績（平成18年1月1日～平成18年12月31日） (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期 (1/1～12/31)	7,328	541	545	134

3. 平成19年12月期 単体業績予想の修正等

(1) 通期（平成19年1月1日～平成19年12月31日） (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	6,169	230	316	98
今回修正 (B)	5,693	156	238	38
増減額 (B-A)	△476	△74	△78	△60
増減率 (%)	△7.7	△32.2	△24.7	△61.2

(2) 修正理由

当期においては、前期比で増収は確保したものの、当社の戦略クライアントである飲料クライアント向けにおいて、当初の見込み案件を失注したことにより、当初の予想に対し売上高が下回り、同様の理由により営業利益及び経常利益についても予想を下回る見込みであります。

また、当期純利益については、上記の要因に加え、連結業績予想の修正等に記載の理由と同様に、特別損失を計上したことにより、当初の予想を下回る見込みであります。

(3) ご参考：前期の実績（平成18年1月1日～平成18年12月31日） (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期 (1/1～12/31)	5,390	213	285	11

- (注) 1. 上記の連結業績予想の修正等に伴い、平成19年12月期（第20期）配当予想を修正しております。詳細は、本日付で発表いたしました「平成19年12月期（第20期）配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上